



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨロズ

コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 佐草 彰

TEL 045(543)6802

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,656	12.8	1,963	△11.3	1,608	△26.3	546	△50.5
24年3月期第1四半期	24,525	3.4	2,213	3.5	2,181	5.5	1,103	44.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,621百万円 (12.8%) 24年3月期第1四半期 2,323百万円 (75.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	27.17	27.03
24年3月期第1四半期	63.08	54.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	92,519	53,042	48.2
24年3月期	83,850	51,235	51.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 44,589百万円 24年3月期 42,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	17.5	3,800	△11.3	3,400	△17.4	1,500	△40.3	74.49
通期	113,000	11.3	8,200	0.7	7,700	△11.8	4,100	△24.3	203.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) ワイ・オグラオートモーティブタイランド社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	21,455,636 株	24年3月期	21,455,636 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,318,399 株	24年3月期	1,328,085 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	20,128,819 株	24年3月期1Q	17,499,944 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおりアナリスト向け工場見学会を開催する予定です。この工場見学会で配布した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年8月30日(木).....機関投資家・アナリスト向け工場見学会
開催場所 (株)ヨロズ栃木

・上記工場見学会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題による金融不安の影響がこれまで堅調に推移してきた中国などの新興国にも波及し、景気の拡大が減速感を強めており総じて厳しい状況となりました。

こうした中、日本におきましては、円高の影響や世界経済の減速懸念等はあるものの、震災からの復興需要等により緩やかな回復基調となりました。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場においては、震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果もあり回復基調にあります。海外市場においては、欧州では減産となったものの、北米や中国、タイ等の新興国での生産拡大により、世界の自動車生産台数は前年同期と比べ増加いたしました。

このような状況におきまして、当社グループの売上高は、前年同期比12.8%増の27,656百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げて原価低減活動を継続しておりますが、新拠点の操業開始コストや労務費の増加等の利益圧迫要因等があり、営業利益は前年同期比11.3%減の1,963百万円、経常利益は円高による「為替差損」の増加により前年同期比26.3%減の1,608百万円、四半期純利益は「投資有価証券評価損」の発生により前年同期比50.5%減の546百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

主要取引先であります日産自動車をはじめ各カーメーカーの増産の影響や金型・設備売上が増加したことなどにより、売上高は前年同期比30.5%増の13,761百万円となり、セグメント利益は前年同期比8.4%増の1,037百万円となりました。

②北米

現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高による為替換算の影響により、売上高は前年同期比0.2%減の8,898百万円となりました。

一方、利益面では、継続して取り組んでいる原価低減活動の効果などによりセグメント利益は前年同期比12.2%増の443百万円となりました。

③アジア

得意先の生産拡大により、売上高は前年同期比14.4%増の8,819百万円となりました。

一方、利益面では、新拠点の操業開始コストや労務費の増加等の利益圧迫要因があり、セグメント利益は前年同期比37.0%減の691百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ6,321百万円増加の52,062百万円となりました。これは、「現金及び預金」が2,829百万円、「受取手形及び売掛金」が3,550百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ2,347百万円増加の40,456百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「機械装置及び運搬具」が1,835百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ8,668百万円増加の92,519百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて2,603百万円増加の27,588百万円となりました。これは、「その他」に含まれる未払金が1,192百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ4,258百万円増加の11,888百万円となりました。これは、「長期借入金」が5,202百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ6,862百万円増加の39,477百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,806百万円増加の53,042百万円となりました。これは、「利益剰余金」が345百万円増加、「その他の包括利益累計額」のうち「為替換算調整勘定」が1,628百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期（第2四半期累計期間及び通期）の業績予想につきましては、第1四半期の実績及び最近の事業環境を踏まえ、現時点で予測できる影響を勘案した結果、売上高は前回（5月）発表を上回る見込みであります。

利益面につきましては、売上高の増加や追加合理化効果等により通期では営業利益・経常利益・当期純利益ともに上方修正いたします。ただし、第2四半期累計期間の経常利益・当期純利益については、為替差損や有価証券の減損等により減少する見通しであります。

なお、連結業績予想は、次の為替レートを前提にしております。

①第2四半期累計期間

1USドル=79.77円、1メキシコペソ=6.03円、1タイバーツ=2.56円、1中国元=12.65円、1インドルピー=1.50円、千インドネシアルピア=8.50円

②通期

1USドル=77.00円、1メキシコペソ=5.60円、1タイバーツ=2.50円、1中国元=12.20円、1インドルピー=1.50円、千インドネシアルピア=8.50円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したヨロズオートモーティブグアナファトデメヒコ社、ワイ・オグラオートモーティブタイランド社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,864	17,694
受取手形及び売掛金	14,338	17,888
製品	4,461	4,869
原材料及び貯蔵品	868	485
部分品	1,393	1,771
仕掛品	3,563	2,767
その他	6,269	6,603
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	45,740	52,062
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	13,655	15,490
その他（純額）	16,512	17,768
有形固定資産合計	30,167	33,259
無形固定資産	453	442
投資その他の資産	7,489	6,755
固定資産合計	38,109	40,456
資産合計	83,850	92,519
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,952	16,099
1年内返済予定の長期借入金	1,027	1,208
未払法人税等	1,979	954
賞与引当金	862	1,280
役員賞与引当金	64	82
災害損失引当金	59	58
その他	5,039	7,904
流動負債合計	24,984	27,588
固定負債		
長期借入金	3,939	9,142
退職給付引当金	1,086	1,086
その他	2,604	1,659
固定負債合計	7,630	11,888
負債合計	32,614	39,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	6,997	7,000
利益剰余金	47,248	47,594
自己株式	△1,158	△1,150
株主資本合計	56,559	56,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,351	1,049
為替換算調整勘定	△14,685	△13,056
在外子会社の年金債務調整額	△330	△320
その他の包括利益累計額合計	△13,664	△12,327
新株予約権	119	107
少数株主持分	8,220	8,345
純資産合計	51,235	53,042
負債純資産合計	83,850	92,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	24,525	27,656
売上原価	20,526	23,546
売上総利益	3,998	4,109
販売費及び一般管理費	1,785	2,146
営業利益	2,213	1,963
営業外収益		
受取利息	29	36
受取配当金	38	48
その他	22	22
営業外収益合計	90	108
営業外費用		
支払利息	41	34
為替差損	68	413
その他	12	15
営業外費用合計	122	463
経常利益	2,181	1,608
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	251
その他	4	4
特別損失合計	4	255
税金等調整前四半期純利益	2,177	1,353
法人税等	742	541
少数株主損益調整前四半期純利益	1,435	811
少数株主利益	331	265
四半期純利益	1,103	546

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,435	811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△301
為替換算調整勘定	847	2,100
在外子会社の年金債務調整額	8	11
その他の包括利益合計	887	1,809
四半期包括利益	2,323	2,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,790	1,883
少数株主に係る四半期包括利益	532	738

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	8,010	8,833	7,681	24,525
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,535	86	24	2,647
計	10,546	8,919	7,706	27,172
セグメント利益	957	395	1,096	2,449

2. 報告セグメントの利益金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,449
セグメント間取引調整額	△236
四半期連結損益計算書の営業利益	2,213

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	10,043	8,812	8,800	27,656
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,717	85	19	3,822
計	13,761	8,898	8,819	31,478
セグメント利益	1,037	443	691	2,172

2. 報告セグメントの利益金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,172
セグメント間取引調整額	△209
四半期連結損益計算書の営業利益	1,963

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。